

## 事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	24			作成日	平成25年9月9日		
総合計画	章	2	活力あるまちづくり	年度	平成 24 年度事業		
	項	1	活力ある農業の振興	課等名及びグループ名	農林課 農林グループ		
	節	1	安全で信頼できる農林水産物の産地づくり	記入者 職氏名	主査 益子 正則		

### 【事務事業の概要】

#### I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事務事業名	町営牧場維持管理					
事業概要	対象	大子ふれあい牧場				
	目的	乳用牛・繁殖和牛の健全なる育成を推進し、当牧場を核として畜産振興、畜産経営の安定化を目指す。				
	実施内容	4月～10月 360円/日 ・11月～ 520円/日 による受託 不受胎牛対策 人工授精・妊娠鑑定・除角を実施				

#### II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計			過疎計画	施策区分	畜産の振興
	款	5	農林水産業費			事業名 (施策名)	過疎地域自立促進特別事業
	項	1	農業費				
	目	7	町営牧場管理運営費				
	事業名	町営牧場管理運営費			根拠法令	大子ふれあい牧場管理運営規則	

### 【事務事業の実施状況】

#### III 事業費の推移及び終期

年 度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位: 千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績	10,337				3,676	6,661
平成 22 年度実績	10,228				3,733	6,495
平成 23 年度実績	10,333				2,433	7,900
平成 24 年度実績	18,215			7,200	3,762	7,253
平成 25 年度当初	10,403				3,403	7,000

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分						

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	預託牛が最大の受け入れ状況になっていることから飼養農家からの重要性が見える結果であり、飼養農家の高齢化、省力化による要因とも考えられる。
------	--

V 問題点の概要

問題点	草地造成が必要とする土地が増えている。
-----	---------------------

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
預託牛	頭	10,230	10,000	-	10,500	-	11,000	-	11,500	89.0%
指標に表われない効果	乳用牛の場合、搾乳量の変化。肉牛の受胎率、飼養頭数の変化。									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	畜産農家の戸数、頭数の維持に貢献している。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	受託頭数が管理可能頭数に達している。 昨年に比べると受託頭数増えている。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input checked="" type="checkbox"/> 効率的でない	草地の能力が低いために飼料で補わなくてはならない。 施設の機能がなされていない。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input type="checkbox"/> 公平である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	サービスの受益者が平均しているとは言えない。 しかし、預託希望者については受け入れているので理解は得られている。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。          牧場に預託することで飼養農家の負担が軽減され, 飼養農家減少に歯止めが掛ければ牧場の役目が果たされていると考える。          経費をどこで抑えるかが課題である。</p>										
<p>【担当所属長意見】          飼養農家でも少子高齢化が進んでいるため, 農家の負担軽減を考えるとふれあい牧場での預かり事業は必要である。</p>										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】          草地能力低下の改善措置を検討すること。</p>										
<p>【備考】</p>										